

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職場の理念は文字として言葉として掲げたのは極最近のことであるが、まさに当施設の歴史の中から生まれたものである。ゆっくりでもいいが確実に全職員の心の中に浸透させていきたい。	職場の理念を空で唱和できるようにする。	①職場の全職員が見える場所に掲示する。 ②全体会議でみんなで唱和する。 ③勉強会などにおいて理念について意見交換をする機会を設ける。	12ヶ月
2	13	当施設の災害対策が万全ではないことを自覚している。しかし、自力や自主努力で解決できるものできないものがあり、他力に頼らざるを得ない一面も実在している。とすればいかに他力を引き出していくのかは事業所にとって大きな課題となる。	特に火災を意識した対策を具体化していく。 ①全職員が出火や類焼時の的確な判断力を養う。 ②出火元にならないよう万全を尽くすという意識を全職員が持つ。 ③全職員が消防署への通報を確実にできるようになる。 ④全職員が利用者を安全に避難させられるようになる。 ⑤いざというときに近所隣の援助を受けられるようにする。	①年度内に全職員が必ず1回以上の消防訓練に参加できるよう訓練の複数回の実施、または指導を行う。 ②出火要因となるものを摘出し、消去法を用いて出火可能性を限りなく0%に近づける。 ③類焼を仮定し、通報、避難がスムーズに行えるように定期訓練を行う。 ④夜間火災発生または類焼を想定した訓練を定期的に行う。 ⑤当施設並びに緊急火災連絡網内の近所6軒を取り巻く住居または店舗に火災発生時の相互協力を呼びかけ、より広範囲の協力体制の構築を目指す。 ⑥地域に当施設の存在の広報活動を行う。	36ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。